

衆参同時選挙を迎えての街頭演説

(昭和五十五年五月三十日 東京・新宿)

参議院の改選選挙も、本日から幕を切つて落とされました。やがて、われわれは、衆議院の総選挙も同時にお願いしなければならなくなりました。私は、まず国民の各位に民主政治の原点に立ち返りまして、今回この二大選挙をなぜ同時にお願いしなければならないかのゆえんを、ご理解を願わなければならないと存じております。

皆さま、五月十六日、思わざることがわが国会に発生いたしました。一部野党の軽率な不信任案の提出がございました。不幸にいたしましたして、わが党の一部に欠席者が出ましたことは、厳然たる事実でございます。

皆さま、人間の集団にはいろいろ意見の闘いも紛争もございます。家庭において、職場において、あらゆる集団において常に意見を闘わし、よきものを創造してまいりますのが、人間生活の発展であり、民主政治の道であると思っております。

自由民主党もその例外ではございません。結党以来、多くの論争を重ね、紛争を繰り返してまいりましたが、しかしながら、国民の安全を守り、生活を防衛し、日本の未来に責任を持たねばならぬという大きな一点におきましては、みじんも狂いがないのであります。

このたびの紛争も見事に収拾されました、われわれは、この二大選挙に、いま、ようやく一致して出陣いたしましたものでございます。事ここに至る経緯につきまして、詳しく私は弁明を試みようとは思いません。同志の皆さまもすでに十分ご理解いただいておりますが、私は、全党を率いて、全力をあげ、悔いのない闘いを通じて、日本の安全を守り、国民生活を防衛し、かわい子子供さんのために、高齢者のために、生きがいのある人生を用意しなければならないと思っております。

皆さまのご理解と、これまでわが党に賜りましたご協力に対しまして、お礼を申し上げますとともに、一層の力強いご鞭撻をお願いしてやみません。

まず第一に、わが党は、国の平和を保障し、安全を守らなければならない厳粛な責任を持っております。われわれの先輩は、アメリカ合衆国との間に安全保障条約を結び、この条約の持つ戦争抑止力を背景にいたしました、わが国力に応じた質の高い自衛力の整備に精進してまいりました。

このわが党の外交防衛政策は、多くの国民によって支持されるに至ったのであります。世論調査によりますと、八三パーセントの国民がこれを支持していただいております。安保条約の廃棄を主張する者と、やがて廃棄すべきだと主張する者はわずかに一パーセントにすぎないということは、日本の国民が、われわれの外交・防衛政策に深い理解と強い支持を賜わっておる証左であると思っております。

もし、社共両党の主張するように安保体制を否認いたしますならば、われわれは、いやおうなく軍事大国への道を歩まなければならなくなるわけでございます。われわれの軍事力だけでわれわれを守らなければならぬとすれば、われわれの今日の繁栄も生活も犠牲にしなければならぬのであります。われわれ

は、いま日本の多くの国民とともに、この安保体制というものを堅持して、皆さまとともに質の高い自衛力の整備を、われわれ国民の自主的判断において進めてまいりたいと考えております。この選挙を通じて、この政策への支持をあらためて求めなければならぬと考えております。

第二に、自由民主党は、国民の生活を防衛する重い責任をもっております。国民の生活を防衛するに足る政策と、それを実行する能力と、これを推進していく見識と経験と人材をもっております。わが党以外にないことをこの選挙を通じて、国民の一人ひとりに十分ご理解をいただかなければならぬと考えております。

今日、午後発表をされます東京都の消費者物価の前年同期比の上昇は、七・七パーセントということでございます。皆さま、石油はめきめき上がってまいりました。海外からの原材料の値上げは、去年に比べまして六九パーセントの値上げを記録いたしております。

しかしながら、わが党と政府は、皆さまと一緒にしまして、汗と脂を絞り切つて、真剣な減量経営に努力し、資源の節約に努力し、生産性の向上に努力し、労使の間の紛争も世界のなかでいちばん自重いたしまして、外からくるところの物価高を一ケタのところへ押えきつておるのであります。

アメリカは一四〇五パーセントの値上げでございます。イギリスもフランスもイタリーも一七〇八パーセントの値上げを記録しておりますのに、わが国が西ドイツと並んで一ケタのところへ押えきつておるということは、国民の努力もさることながら、わが党の政策に間違いがなかったことを、この選挙を通じてご理解をいただかなければならぬと考えておるのであります。

石油の危機は、二度にわたってわが国にもろに痛撃を加えたのであります。石油は一バレル二ドル内外でございましたが、今日、それは三十ドルを超えようとしたのであります。産油国の状況も、きわめて政状不安定でございます。

しかしながら皆さま、自由民主党と政府は、皆さまに石油の不足を訴えたことはないのであります。必要とする石油は確保することに成功いたしております。去年より、一週間分余の備蓄を増加いたしております。石油製品の在庫は、去年より二三パーセントも増加をいたしております。

私は、この世界経済の混迷のなかで、これだけの用意を成し得たことを誇りといたしております。われわれはこれまでも努力し、政府も努力いたしました。そして皆さまにご心配のない体制を作り上げること成功いたしましたのでございます。

このことは、自由経済体制を堅持して市場経済の活力を生かし、国民が真剣な努力を傾け、政府がこれを善導してまいるといふ自由経済体制が誤りでなかったことを証明いたしております。世界各国が瞠目して、日本のこのパフォーマンスをたたえておりまする言葉を、この機会に私はご報告できますることを、たいへん誇りに存するものでございます。

これからどんなことがございしても、廃虚から今日の日本の復興を可能にいたしましたわれわれでございます。自由民主党を軸といたしまして、自由経済体制を土壌といたしまして今日の復興を可能にいたしましたこの路線を、この選挙を通じてますます国民的確信にまで固めてまいりまして、日本の未来を安きに置かなければならんと考えております。全幅のご協力をお願いしてやみません。

第三に、かわいい子供さんには確かな未来を用意しなければ、われわれお互い同時代人の責任は果たせないと思います。世界でいちばん生存年齢が長くなりました日本は、お年寄りに第二の生きがいのある人生を用意しなければなりません。領土を広くするわけにはまいりません。資源をいま作り出す手立てもないのであります。あるものは、われわれの頭脳であります。われわれの労働力であります、われわれの工夫であります、われわれの精神であります。われわれの目に見えない力を政治が結集いたしまして、あらゆる困難のなかに確かな未来を、子供のために、高齢者のために作り上げなければならぬのであります。このことができる政党はほかにないことも、また明らかでございます。

第四に、そして何よりも先に、われわれは、政治の倫理を確立し、行政の綱紀を正していかなければなりません。野党は、自由民主党を名ざして、金権腐敗の政党と言っております。私は、このゆえんがどうしても納得できないのであります。

共産体制といい、社会主義体制といい、国民に対して、寄らしむべし、知らしむべからずの政治体制をとっております。権力者が何をしておるか、何を考えておるか、どついつ生活をしておるか、さっぱり国民が知らないような体制をもって、どうして、政治の倫理の確立と行政の綱紀の確立ができるのでありましようか。

わが自由民主党は、国民の皆さまの知りたいという権利に応えております。われわれの仲間の中でも疑惑を受けた方々は、司直の手によって十分糾明していただいております。罪責が明らかになれば、法に照らして処断をいたしておるのであります。

そういう体制をもった自由民主主義体制こそが、政治の清潔を守り、行政の綱紀を正す、たった一つの道であります。閉ざされた全体主義体制を維持する政党が、政治の清潔を、行政の綱紀を、などという資格はないと私は判断いたします。自らの政策対応能力のないことを棚にあげて、自らの能力の不足を問うことなく、他人の非ばかり朝から晩まで洗うことによつて歳費をいただいておるような者に、国民が本当に信頼をいたすものでございましょうか。この選挙は、こういう者に対する厳肅な判断がなければならぬ、と私は考えております。

皆さま、いよいよ参議院選挙は幕を切つて落とされました。参議院は良識の府でございませう。政治に最後のカンナをかけて仕上げをしていただかなければならない第二の院でございませう。憲法は、衆議院をよそ目に見まして、参議院こそはこれに方向を誤らないように、速度を誤らないように、調節をしてくれるようにという期待をかけて作つてくれてあるわけでございます。

どうか皆さま、今回の選挙におきましても、われわれの同志に信頼と友情にふさわしい得票を与えていただき、わが参議院選挙の先達として堂々たる記録で有終の美を飾つて、今度の二大選挙を、この選挙を通じて大いに盛り上げていただきますように心からお願いをし、今日早々とお集まりいただきました皆さまに心から感謝申し上げます。私のご挨拶といたします。ありがとうございます。